

# 魅力ある地域 のために

よりよい社会・地域の想像に向けて

特集  
2

## 行政と一体となった 農業振興

1市2町の首長、共済組合、普及センター、JA等で構成されている「北見地区農業振興連絡協議会」があり、農業者のための農業技術研修や担い手対策への支援、地域の方々に対して地産地消の取り組みや食育の取り組みに対する支援を地域全体で行うために協議・活動をしています。

## 北見地区農業振興連絡協議会

北見市・訓子府町・置戸町・  
オホーツク農業共済組合・  
JAきたみらい

担い手  
地域振興  
情報部会



## 一市二町の小学校に教材本を贈呈

私たちの生活に欠かせない「食」と「農業」、また「環境」と「農業」の密接な関係を意識してもらい、農業への理解を深めるきっかけになることを願い補助教材本を作成し、全国のJAバンクから小学校へ贈呈されています。



## 農業の魅力を伝えたい

未来を担う子どもたちに第1次産業である農業の重要性や食の大切さを理解してもらい、関心を深めてもらうため、植付けから収穫食べるまでを実際に使う農業体験活動や親子で参加する農業体験見て歩きツアーなどを開催しています。

このようなイベントを通じて、食や農業に対して興味を持ち「将来農業に携わりたい、食に関わる仕事がしたい」と思ってもらえるように頑っています。

## 食の大切さを伝える

地元農畜産物に親しんでもらう食農教育の一環として、北見市、訓子府町、置戸町の1市2町へ地元産の玉ねぎとじゃがいもを送っています。送られた玉ねぎとじゃがいもは、食農教育パンフレット「玉ねぎちゃんとじゃがいもくん」とともに、保育園や小学校の給食用として子どもたちに届けられています。

また、JA名に「みらい」を冠したJAのつながりで、JA津軽みらい地域の子どもたちにも、じゃがいも・玉ねぎを送りました。JA津軽みらいからは、美味しいりんごが届けられ、北見地域の小学校や保育園へプレゼントされました。



安全・安心な  
地元食材を使った  
「給食のコロッケ」

原材料は全て北海道産で、添加物不使用、アレルゲンを極力減らしたコロッケを開発し、地域の学校給食で提供されています。子どもたちに安全・安心で、おいしい地域の食を味わってもらうために地元の栄養士の方や組合員の女性組織の意見を反映し、開発しています。

## 農村地域ならではの魅力

### 農家・組合員の方々のコミュニティ

農家の経営者の方、後継者の方、またどのパートナーの方などそれぞれのコミュニティがあり、積極的に活動しています。

農業技術を学ぶために視察研修や技術研修、農業情勢に対する学習会など様々な研修を行っています。

また、運動会や料理教室などの行事での交流をしています。これらの活動を通して、生産者同士のつながり、農業の振興やより良い地域・JAづくりに貢献しています。



### 地元住民とのつながり



作る人(生産者)と食べる人(消費者)との距離が近く、収穫祭や地産地消祭りをはじめ、いろいろなお祭りが各地域で行われています。催しには、地域の方もたくさん訪れ、大いに盛り上がるイベントとなっています。最近では、行政と一緒にハロウィンイベント等の季節の行事にも積極的に参加しています。



また、農業者の方が小学校で農業の魅力を直接伝えるために「出前授業」の実施や地元のお祭りへの参画を行っています。

### 業務について



芦毛 鈴奈  
(平成31年 入組)

農業振興部  
担い手グループ  
女性部事務局 担当

### 担当職員の一人として

担い手グループの業務は、組合員の皆様や地域の方々と接する機会が多くあります。現在はコロナ禍で様々な制限がありますが、コミュニケーションを大切に相手が求めることを的確に理解し、親身になって対応することが重要であると思います。

日々学び、臨機応変に対応できる職員を目指し、農協に関わる皆様のニーズに応えられるよう努めています。

関連するSDGsへの取組み

